

第7期荒尾市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画書（素案）
に関するご意見・ご提案の内容及び対応方針

1. 意見募集期間 平成30年2月1日～平成30年2月28日
2. 応募件数 1件（4項目）

	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方
1	P30 認知症地域支援推進員の周知不足を感じる。 何処にいるのか、どなたなのか、どんな人がなっているのか知らないです。	認知症地域支援推進員の配置場所や担当業務について、地域のいきいきサロンや市民向け研修会、認知症サポーター養成講座等の機会を通じて、引き続き周知啓発を行っていきます。
2	P38 老々介護が進む中、在宅介護者やその家族への支援を期待する。 家族の休息が必要で、共倒れを防ぐ支援を。	家族が安心して介護できるよう、第7期計画では、訪問・通所・宿泊の各ニーズに対応できる「小規模多機能型サービス」の整備を重点施策としました。 介護が必要な状態になっても安心して暮らせるよう、今後もニーズに合った体制作りに取り組んでいきます。
3	P40 今後の取り組みの中で、市交通部局とはどこを指しますか？ 買物支援の具体化が待たれます。	政策企画課 政策経営室にて、地域公共交通活性化に取り組んでいます。
4	市包括支援センターが頼りなのに、人員不足では市民の要望に応えられない時があるのではないかと、30年度には人員確保を期待する。	関係部署と協議し、高齢化率の上昇による包括支援センターの業務内容の増大と他市の人員体制の状況の説明を行い、高齢者人口規模に応じた専門職の配置を働きかけていきます。

上記ご意見のほかに、漢字の変換ミスをご指摘いただきました。
漢字の間違い等無いよう、再度確認いたします。